



JASDAQ

平成 18 年 8 月 22 日

各 位

会 社 名 東 新 住 建 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 深 川 堅 治
(J A S D A Q ・ コ ー ド 1 7 5 4)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 経 営 推 進 本 部 長 飯 野 磨
電 話 0 5 8 7 - 2 3 - 0 0 1 1

平成 1 8 年 6 月 期 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 1 8 年 6 月 期 (平成 17 年 7 月 1 日 ~ 平成 18 年 6 月 30 日) の 業 績 予 想 に つ き ま し て、平成 18 年 6 月 28 日 付 当 社 「平成 18 年 6 月 期 通 期 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ」 に て 発 表 い た し ま し た 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す。

記

- 1 . 平成 1 8 年 6 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平成 17 年 7 月 1 日 ~ 平成 18 年 6 月 30 日)
(単 位 : 百 万 円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	9 0 , 7 4 0	1 , 0 1 3	1 6 0
今 回 修 正 予 想 (B)	9 0 , 8 5 7	1 , 2 5 5	1 4 7
増 減 額 (B - A)	1 1 7	2 4 2	1 2
増 減 率 (%)	0 . 1 %	2 3 . 9 %	-
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 1 7 年 6 月 期)	7 2 , 2 2 7	2 , 5 1 8	1 , 3 2 8

- 2 . 平成 1 8 年 6 月 期 通 期 個 別 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平成 17 年 7 月 1 日 ~ 平成 18 年 6 月 30 日)
(単 位 : 百 万 円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	8 4 , 1 1 6	1 , 2 6 1	2 0 0
今 回 修 正 予 想 (B)	8 4 , 8 4 1	1 , 3 6 8	1 1 0
増 減 額 (B - A)	7 2 5	1 0 7	8 9
増 減 率 (%)	0 . 8 %	8 . 5 %	4 4 . 6 %
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 1 7 年 6 月 期)	6 8 , 2 5 7	2 , 2 1 1	1 , 1 5 3

3. 修正の理由

(連結)

売上高につきましては、前回予想通りに推移し117百万円増加の90,857百万円の見込みであります。

経常利益につきましては、売上総利益率がやや上昇したことにより前回予想を242百万円上回り1,255百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、経常利益の増加はありましたが、法人税等の増加要因もあり、最終的には前回予想より12百万円改善し147百万円の当期純損失となる見込みであります。

(個別)

売上高につきましては、前回予想を725百万円上回り、84,841百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、売上高が増加したこと等により前回予想を107百万円上回り1,368百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、経常利益が増加したこと、最終数値を精査したところ課税所得に加算される、完成工事補償引当金、退職給付引当金の見積額が当初見込みを上回ったこと等により、課税所得が増加いたしました。よって、法人税等の金額が当初見込みを上回り、当期純利益は前回予想に比べ89百万円減少し、110百万円となる見込みであります。

以 上